

税金で成り立つ私たちの暮らし

学校法人尚学学園沖縄尚学高等学校附属中学校 3年 萩原 陽葉

私は今年の夏、短期留学でアメリカへ行きました。その留学の事前説明会で驚いたことがあります。それは、アメリカで救急車を呼ぶにはお金がかかるということです。私は、救急車はどの国でも無料で利用できると思っていたので、とても衝撃的でした。この事前説明会をきっかけに、私は世界の医療制度について気になり、調べてみました。

世界の医療制度は大きく、アメリカ型、ヨーロッパ型、日本型の三つに分けられるそうです。アメリカ型は、保険に入っているにも二、三日の入院で数百万円、一回の外来検査で数十万円かかることが普通だそうです。ヨーロッパ型は、原則無料ですが、病気になっても診察予約は二、三週間の待機、専門医に診てもらうのは月単位の待機が必要となるそうです。そのため、緊急時は有料の私立病院を利用することとなり、その際はアメリカ型同様の金額になります。しかし、日本型は医療保険が充実している為、個人で病院を選び、自分が望む医療を受けることが可能らしいです。

この保険制度のおかげで、私たちはいつでも不安なく医療を受けられます。何故この保険制度が充実しているのか調べたところ、保険の財源の約五分の一を保険税で賄っているそうです。保険税のおかげで、私たちは金額を気にせず医療を受けられるのだなと思いました。

また、日本では保険税の他に約五十種類もの税金があり、その納められた税金は、私たちの教育、健康、道路の整備などに使われているそうです。私たちの当たり前暮らしは、税金が支えてくれているから成り立つものだったのです。

私は今まで、税に対してマイナスイメージを持っていました。何をするにも税金としてお金を払わないといけないし、税金を払いたくないが故に脱税する人もいるからです。しかし、税金の使い道を知って、税金のイメージが変わりました。税金は、「私たちへ負担をかける嫌なもの」ではなく、「私たちの生活を豊かにする良いもの」というイメージに変わりました。

税金は私たちの暮らしに深く関わっています。私たちが日々健康に暮らせたり、平等に教育を受けられたりするのにも税金という義務があるおかげです。税金を納める意義を理解しながら、私も納税者として、身の回りを豊かにし、よりよい暮らしが送れるように税金を納めていきたいです。